

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

平成 26 年度の重点取組事項について ～地域の森林・林業の再生に向けて～

近畿中国森林管理局は、公益重視の管理経営の一層の推進や森林・林業再生に向けて国有林の組織、技術力、資源を活かして、コスト削減や路網整備、木材の安定供給などの取組を積極的に進めます。

1 公益重視の管理経営の一層の推進

国土の保全、地球温暖化防止及び生物多様性の保全等公益的機能の維持増進を旨として、森林整備事業や治山事業の計画的かつ効率的な実施、保護林制度による原生的な森林生態系の保全・管理などを通じて、公益林として適切に管理経営を行います。

○計画的な森林整備

- ・地域管理経営計画等に基づき、適切な施策を全署（所）で推進し、森林吸収源対策として必要な間伐面積の確保に努めます。今年度は、5千haの間伐を予定しています。



【列状間伐による森林整備】

- ・林道（林業専用道を含む。）等の路網整備について、25年度補正及び26年度当初予算を合わせて20.7km開設を予定しています。
- ・植付け作業の省力化のため、コンテナ苗等【林業専用道 第二野路山】による造林を9署（所）で実施します。



【コンテナ苗】



【現地検討会の様子】

○治山対策の推進

- ・25年度補正予算及び26年度当初予算により、集中豪雨等によって被災した緊急性の高い山腹崩壊地等の早期の復旧整備等を図るとともに、過密化した保安林の整備等により山地の防災力の向上を図ります。

- ・特に平成25年の台風18号等による山地災害については、災害復旧事業を着実に推進します。また、平成23年の台風12号等による山地災害の復旧について



ても奈良県、和歌山県において継続して取組みます。

【補正予算により山地災害の復旧を加速】
（和歌山県田辺市 紀伊田辺地区民有林直轄治山事業）



【平成25年台風18号災害による溪流荒廃の状況】
（滋賀県大津市 関寺国有林）

○生物多様性の保全

- ・各「緑の回廊」（石川署、福井署、兵庫署、鳥取署）において、モニタリング調査等を通じて保護林や緑の回廊等の適切な管理を進めます。
- ・「東中国山地緑の回廊」（兵庫署、鳥取署）においては、連絡調整会議を開催し、民有林との連携による共生の森づくりを進めます。
- ・水山国有林（兵庫署）において植物群落保護林、地峯国有林（奈良所）において特定動物生息地保護林の設定を予定しており、生物多様性の保全に努めます。



【連絡調整会議の様子】



【池郷国有林における現地検討会の様子】



【宮島特定動物生息地保護林（ミヤジマトンボ）】

2 森林・林業再生に向けた貢献

我が国の森林・林業の再生に向けて、国有林の組織、技術力資源を活用し、民有林と連携した施業の実施、森林・林業技術者等の育成、低コストで効率的な作業システムの提案・検証や先駆的な技術・手法の事業レベルでの試行、林産物の安定供給等を通じて、民有林の経営に対する支援等に積極的に取り組みます。

○民有林と連携した森林整備等の推進

- 森林共同施業団地での事業の計画的かつ確実な実行に努めるとともに、地域条件に適合した管理経営の検討を行い、民有林との一体的な管理経営を目指す取り組みを各署（所）に拡大します。
- 岡山県新見市が小規模林家自らによる森林整備の推進等を支援する施策を実施するにあたり、地元林家、有識者、関係機関が一体となってニーズに合った実現可能な政策提言を行い、市がその提言を施策展開へ反映させる取組を進めることとしており、局署等は其中で積極的な役割を果たしていきます。



【モデル団地での路網画の検討の様子】



○人材の育成

- フォレスター等技術者の育成のための研修等への講師派遣、フィールド提供等を通じて人材育成を支援します。（森林技術・支援センター）
- 国有林野事業職員をフォレスターとして育成し、フォレスター等を全ての署（所）に配置するとともに、市町村行政への技術的な支援を推進します。



【准フォレスター研修の様子】



【林業専用道技術者育成研修の様子】

○林産物の安定供給

- 木材価格急変時の供給調整への対応を念頭に、外部有識者からなる「国有林材供給調整検討委員会」を開催します。
- 地域の木材価格や需要動向を的確に把握しつつ、林産物を持続的・計画的に供給します。今年度は、12

万 m^3 の供給を予定しています。

- 国産材の需要拡大や加工・流通の合理化等に取り組む製材工場や合板工場等と協定を締結し、それに基づいて国有林材を安定的に供給する「システム販売」について、12署（所）において取り組んでいます。（47千 m^3 。）



【システム販売先合板工場の様子】



【国有林材搬出の様子】

3 地域振興への寄与

国有林が所在する地域の振興に向け、地域と連携しつつ鳥獣被害対策や病虫害対策を実施するとともに、未利用材の木質バイオマスとしての供給に取り組めます。

○鳥獣被害対策の推進

- 近畿中国森林管理局管内において、効果的なシカ被害対策が行われるよう、今年度から新たに次の取組を実施します。
- 狩猟のための入林手続き等の簡素化
- 立入禁止区域図面のホームページでの公表
- 鳥獣被害防止対策に貢献する林業事業者への総合評価落札方式での加点
- 国有林の被害状況等の情報提供等

- ニホンジカによる樹木の剥皮や食害により、植栽木や林床植生が消失するなど生態系への影響が深刻化している大杉谷国有林（三重署管内）において、新たなシカ捕獲対策の実証等に取り組めます。



【シカの捕獲の様子】

○病虫害対策の推進

- 松くい虫、カシノナガキクイムシについて、地方公共団体と連携を図りつつ、地域の実情に応じた防除等により適切な森林の保管理を推進します。



【マツの伐倒・除根（福井署）】



【ナラ枯れ対策（京都大阪所）】



【カシノナガキクイムシ】

○木質バイオマスの供給

- 地域の再生可能エネルギー利用の取組み等に貢献するため、未利用間伐材等の供給を図ります。今年度は、約1.8万 m^3 を供給する予定です。



【木質バイオマスの集積の様子】



【関連業界との現地意見交換の様子】

ニュース

見て さわって
樹木と友だちになろう「春」

【森林整備部 技術普及課】 4月13日（日）、近畿中国森林管理局において、木と緑の相談室イベント「見てさわって 樹木と友だちになろう「春」～さくらクラフト～」を開催しました。

このイベントは、木と緑の相談室と国有林のPR、及び一般の方に森林の役割や大切さに対する理解を深めてもらうために、平成24年度から実施しているものです。大阪森林インストラクター会から7名がスタッフとして運営にあたりました。

当日は曇りがちな肌寒い気候でしたが、大阪造幣局では「桜の通り抜け」が開催されていることもあり、たくさんのご家族連れ等の参加をいただき、会場はとても賑

わいました。

今回はサクラをテーマに、丸太切り体験と切りだした円盤を木槌で割ってのパズル作り、UVビーズを使っ

たストラップ作り、木の葉の日光写真作り、そして小枝の迷路作りをしました。参加者は、丸太切りに悪戦苦闘しながらも、切り出したヒノキがもつ独特の感触と香りを楽しんだり、木の小枝や葉などの自然素材を使って、それぞれが工夫しながら、素敵な作品を完成させていました。

大人の中には子どもたち以上に、楽しみ熱中していただいた方もいて、ご家族皆さんで楽しい時間を過ごされたようでした。

次回の「木と緑の相談室」イベントは8月3日（日）の開催を予定しています。

詳細は追ってお知らせいたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

近畿中国森林管理局に
10名が入庁

【総務企画部 総務課】 4月8日（火）、近畿中国森林管理局大会議室において、平成26年度の新規採用者10名の入庁式を行いました。新規採用者は、4月1日から管内の森林管理署等に配属されていますが、新規採用者研修に臨むために局に集まりました。

入庁式では青木局長から「公務員、社会人としてのルールやマナーを守ることは当然のことですが、その基礎となる新規採用研修が本日から始まります。学校で学んだものは基礎であることを念頭に、日々の業務を通じて何事にも意欲的に取り組んでください。また、森林管理署等での業務は見るもの聞くものすべてが初めてで戸惑うことも多いと思いますが、1日も早くプロになってください。」と、訓示がありました。

局長訓示の後、新規採用者を代表して森林整備部の大友可愛さんが「現在、日本の森林を取り巻く状況は、木材価格の低迷、林業従事者の高齢化・後継者不足、森林所有者の関心の低下など、多くの困難に遭遇しています。私たちは森林が有している多様な機能が十分発揮されるよう、自然という大きな存在と向き合い、次世代のことを考え、森林環境の保全や山村地域の振興などに取り組むことに魅力を感じ、この職場を志望することに至りました。必要な知識、技術を習得できるよう頑張ること、また、初心を忘れず国家公務員としての誇り、国民全体への奉仕者としての自覚を持ち、美しい森林作りを目指します。」と宣誓しました。

新規採用者10名は研修終了後、それぞれの職場で活躍することになります。



新見市小規模林家支援推進協議会 設立総会の開催

【総務企画部 企画調整課】 3月28日（金）、岡山県新見市役所において、「新見市小規模林家支援推進協議会」の設立総会が開催され、メンバーとなる市内の小規模林家、森林組合、県、市の担当者及び森林管理局、署等の職員が出席しました。



この協議会は、小規模林家が自ら森林整備を推進するための支援として、関係者の連絡調整を図り、森林の適正な保全管理や山村地域の活性化に向けて連携して取り組むことを目的とされています。

冒頭、来賓の新見市長より、化石燃料から自然エネルギーへの転換を迎える時代に直面し、新見市の森林資源を有効に活用し、今後の林業をどのように展開していくかを考えることが重要とし、次に、近畿中国森林管理局次長から、協議会での活発な議論の展開を期待するとともに、平成27年度から予定される市の取組へ局署等が直接・間接に積極的に関与していく考えを示し、将来的には新見市の取組が全国に波及することを祈念しているとして、それぞれ挨拶がありました。



その後、当協議会の設立に係る経過報告があり、協議会規約、役員が承認され、協議会が設立されました。また、当局の企画調整課長からは、今後議論を進める「小規模林家育成プロジェクト」について、プロジェクト全体のイメージ図を基に、林地残材を薪やチップ、おが粉、炭などのエネルギーとして有効利用する方向等について説明を行いました。

今後、協議会では作業部会を設けて年3、4回会合を開き、適切な支援策を検討することとなっています。

「銀閣寺借景林保全活動」を実施

【京都大阪森林管理事務所】 4月19日（土）、銀閣寺山国有林において、「UA ゼンセン京都府支部まちづくり委員会」の主催による「銀閣寺借景林の保全活動」が実施されました。「UA ゼンセン京都府支部まちづくり委員会」は、京都の風土を守り、愛着・環境保護といった郷土愛を育て、地域社会への貢献につとめることを目的として活動して、以前から日本サービス・流通労働組合連合京都支部が取り組んでいた「銀閣寺借景林の保全活動」を継承するとともに、林野庁が掲げる「多様な森林整備や保全活動の要請に対応した国民参加の森づくりを推進する」としたテーマに賛同し、その一翼を担うべく、平成26年3月25日に近畿中国森林管理局と森林整備等の活動に関する「ふれあいの森」協定を締結しました。

今回は、締結後初めての活動として、アカマツ生育箇所の除伐、ヤマザクラ10本の植樹、シカ防護単木ネットの設置、肥料散布に汗をかきました。

当日は、事務局から5名、各労働組合（川島織物セルコン、星和電機、ユニチカ、大丸松坂屋百貨店、高島屋、イオンリテール、さとう、藤井大丸、平和堂、大阪ガス、タカラ物流システム）から28名の参加があり、当所からは、安全及び作業指導のため、調整官ほか4名が運営に協力しました。

この日は天気も良く、参加者の皆さんは疲れも見せず楽しそうに作業に取り組むなど初めての活動を満喫した一日となりました。

今後も、安全に留意しながら、保全活動を続けていただきたいと願っています。



AED 設置！ ～取扱い講習会～

【総務企画部 総務課】 このたび、職員並びに地域住民等の緊急時の安全・安心を確保するため、当局1階にAED（自動体外式除細動器）を設置し、3月27日（木）に総合警備保障株式会社（AL SOK）の方による、講習会を実施しました。

AEDは、突然倒れた人が、もし心室細動という不整脈（心臓が細かくブルブルふるえていて、血液を全身に送ることができない状態）を起こしていれば、強い電流を一瞬流して心臓にショックを与えること（電気ショック）で、心臓の状態を正常に戻す機能を持っています。その電気ショックは医師などではなく、一般の人が与えることができます。

心臓が原因の突然死の多くは、この心室細動を起こしています。心停止した状態が続くと、助かったとしても血液が循環せず、脳に重い障害が残ってしまいます。救急車が到着するまで全国平均で8分かかりますが、1分でも早く心肺蘇生を行うことが大切とのこと。

講習会では、講義のほかAEDを使用した心肺蘇生法を人形と練習用のAEDを使って実際に行い、注意点などを指導してもらうことで、習得することができました。

ただ、使うような事態が起こらないことが一番だと思っています。



お知らせ

有害鳥獣駆除及び狩猟に伴う入林について

平成26年4月1日から有害鳥獣駆除及び狩猟に関する入林届が変更となります。

表記目的により国有林に入林される場合は、新様式での届出をお願い致します。

詳しくは、局ホームページ内『入林許可申請』の項目をご確認ください。

イベント実施団体の募集について

平成26年度 森林ふれあい推進事業のイベント実施に当たり、以下のとおり奈良森林管理事務所と協定を締結して共催等によりイベントを実施する団体等を公募します。

○ イベント実施団体の役割

イベント実施団体は、近畿中国森林管理局長と協定を締結し、団体の創意工夫により、国有林をフィールドとして、森林・林業の理解促進に資するイベントを計画し、実施するものとする。

○ 応募資格

従来から活動等を実施しており、営利を目的とせず、適切に説明ができる資格者を有している団体で、国有林野事業を熟知し、国と連絡・調整を行う事が出来る団体等である事等、条件を全て満たすこと。

○ 締め切り 平成26年7月31日（木曜日）

詳細は、奈良森林管理事務所ホームページをご覧ください。

森林のギャラリー（局庁舎1階）

【5月の展示スケジュール】

テーマ：地域材の取組紹介

5/7～5/20 「心にググッとぐんま」【群馬県大阪事務所】

5/12～5/23 「高知県観光展」【高知県大阪事務所】

5/12～5/23 ほんとの省エネ「国産材で住まいづくり」

【NPO 法人国産材住宅推進協会】

花 草 木

ハナミズキ（和名：アメリカヤマボウシ）

分類は、ミズキ科ミズキ属ヤマボウシ亜属の落葉高木。

アメリカを代表する花木で、正式な和名はアメリカヤマボウシですが、別名のハナミズキの方がよく知られています。

ハナミズキの名は、ミズキの仲間では花が目立つことに由来し、アメリカヤマボウシの名は、アメリカ原産で日本の近縁種のヤマボウシに似ていることから言われています。

ヤマボウシは日本にも分布する落葉樹で、庭木などに利用されます。花の姿も似ていますが、ヤマボウシは苞の先端がとんがるので花ときは安易に見分けが付きません。丈夫で育てやすく、若木は枝のまとまりもよく比較的场所をとらないので、家のシンボルツリーや街路樹に広く利用されます。

花期は4月下旬から5月上旬で、白色や薄いピンク色の花をつけます。

シリーズ 保護林 第11回

近畿中国森林管理局の保護林

いけこう

池郷森林生物遺伝資源保存林 [北山・十津川森林計画区]



↑ 林内の様子
← ブナの大径木



↑ ツガの大径木
← ブナの樹上に生育する
アオベンケイとコ克蘭

池郷森林生物遺伝資源保存林は、奈良県吉野郡下北山村に位置する池郷国有林内にあります。森林と一体となって森林生態系を構成する生物の遺伝資源を森林生態系内に保存し、将来の利用可能性に資することを目的として保護しています。

当保護林は冷温帯の落葉広葉樹林を代表するブナ林が広く見られ、紀伊半島を特徴づける希少な野生動植物が生息・生育し、自然状態が十分保存された天然林を主体とする森林です。

当保護林の面積は702.92haで、水源かん養保安林、紀伊山地カモシカ保護地域などにも指定されています。

また、保護林の一部は吉野熊野国立公園の第1種特別地域に指定されています。

最高地点の天狗山(1537m)から池郷川(630m)まで、標高差が900mあり、保護林内は急峻な地形となっています。

【池郷森林生物遺伝資源保存林に生息・生育する動植物】

◎植物：ブナ、ミズナラ、ウラジロモミ、モミ、ツガ、ヒコサンヒメシャラ、オオイタメイグツ、コミネカエデ、シロヤシオ、コウヤマキ、リョウブ、シノブカグマ、ミヤマシキミなど

◎動物：ツキノワグマ、ニホンジカ、ニホンカモシカ、イヌワシ、クマタカ、オオタカ、コマドリ、アカショウビン、ヤマカガシ、オオダイガハラサンショウウオ、ナガレヒキガエルなど

【保護林及び国有林内での注意事項】

- ★国有林内の動植物の捕獲、採集はできません。
- ★国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。
- ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。
- ★林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。

【池郷森林生物遺伝資源保存林へのアクセス】

◎林道前鬼線から・・・登山道「大日岳・釈迦岳コース」を経て、石楠花岳・天狗山へアプローチ。

◎白谷池郷林道から・・・国道425号線より白谷池郷林道を経て、地蔵岳および池郷川へアプローチ。



ブナ



オオタカ



ウラジロモミ



オオダイガハラ
サンショウウオ

